



こんにちは
渡辺みのるです

1985年東村山市生まれ、29歳。

日本共産党

東村山市議会議員
活動地域

恩多町・久米川町・全生園・野口町・多摩湖町

第9号(2015年8月号)



いい保育・子育ては平和な社会の実現とともに



開会式の様子。日本全国から約1万人が参加しました。

8月1日、2日、第47回全国保育団体合同研究会(保育合研)に参加してきました。

「平和と民主主義を守る統一した意思を表明し、国民的保育運動の新しい出発となるような研究集会を開催したい―これが保育合研の出発点です。」

今回は、東京開催で、東村山市でも「子ども・子育て新制度」の影響や、公立保育園民営化などの諸課題があり、課題を抱える自治体の議員として、民営化対象園の保護者として参加してきました。

新制度で待機児は

子ども・子育て支援新制度が始まって4カ月が経ちました。東村山の待機児は市の発表で32人と昨年から大きく減りましたが、その裏には、第一希望の保育園に入れず仕方なく他の保育園に入園したり、育児休業を延長した子どもがたくさんいます。誰もが希望をする保育園に預けられるよう、引き続き、みなさんとともに声をあげていきます。

民営化による子どもへの影響は

2日目の分科会では、公立保育園民営化を考える分科会に参加しました。保育園を新たに作る時も、

自己紹介⑧

弱い立場の人びとには目もくれず、富めるものはさらに富み、貧しいものはさらに貧しくなる社会をさらに助長する政治の動向に、悶々とした日々を送っていたときに、日本共産党への入党を呼びかけられました。

入党し、しばらくたってから市議選への立候補を打診され、私は「いまやるしかない」と確信しました。

私ひとりの力はまだまだ小さいですが、みなさんとともに社会を変えていくために全力で頑張ります。

おわり

無くすときも、その中心にいるべきなのは子どもたちです。

しかし、東村山市の民営化検討の中心はコストです。民営化によって子どもが受ける影響や、保護者の不安は二の次、三の次にされています。

東村山の今後の保育を考えていく上でも、今回の民営化は子どもを中心にすえた慎重な検討を求めていきます。

ブログ

<http://wminoru.exblog.jp/>

フェイスブック

<http://www.facebook.com/watanabeminoru>